

製品の組立てと取付け

●らんまガラスの建て込み

※らんまガラスはPGの場合、16mm厚から21mm厚まで対応、SGの場合は4mm厚から6.8mm厚まで対応できます。
下表にしたがい、先付・後付各ビードを使用してガラスを入れてください。

※らんまガラスの寸法は部材切断寸法表のページを御覧ください。

PGガラスのビードの使い方

使用ガラス厚 (PG組合例)	ガラス納まり図 ガラス溝幅26mm	先付ビード (工場取付済)	後付ビード (同梱部品)
16mm (3+A10+3)		そのまま使用	そのまま使用
17mm (3+A10+4)		そのまま使用	1枚剥ぎ取り
18mm (4+A10+4)		そのまま使用	2枚剥ぎ取り
19mm (3+A12+4)		1枚剥ぎ取り	そのまま使用
20mm (4+A12+4)		1枚剥ぎ取り	1枚剥ぎ取り
21mm (4+A12+5)		1枚剥ぎ取り	2枚剥ぎ取り

単板ガラスのビードの使い方

※単板ガラスを入れる場合は別売の「SGアタッチ」をご使用ください。

使用ガラス厚	ガラス納まり図 ガラス溝幅14mm	先付ビード (工場取付済)	後付ビード (同梱部品)
4mm		そのまま使用	そのまま使用
5mm		そのまま使用	1枚剥ぎ取り
6mm		そのまま使用	2枚剥ぎ取り
6.8mm		1枚剥ぎ取り	そのまま使用

お願い

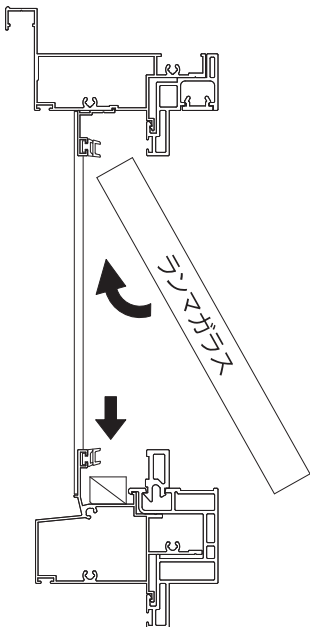
※厚さ6.8mm以上のガラスを使用する場合はガラスを入れる前に先付ビードを剥ってください。

お願い

※厚さ19mm以上のガラスを使用する場合はガラスを入れる前に先付ビードを剥ってください。

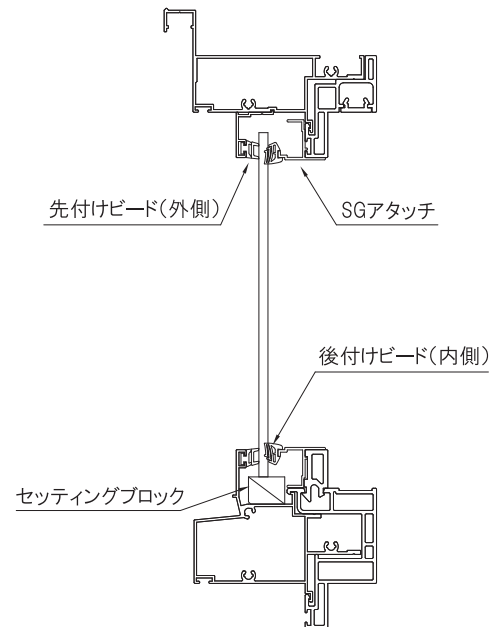
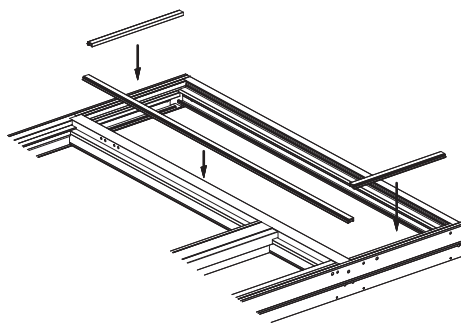
1)らんまガラスの建て込み

・上枠側から先に入れてください。



2)押縁のセット

・下の押縁をセットした後、
縦の押縁を嵌め込んでください。



●新枠の取付け

お願い

- ・本製品は土間納まり専用です。外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充填してください。
- ・躯体に取り付ける際はねじかけり寸法は必ず20mm以上にしてください。強度の不足による本体・枠の脱落の原因になります。
- ・丁番取付ビスを全部はずさないでください。ドア本体が脱落します。
- ・現場施工に入る前に、製品基本寸法が現場とあっている事を必ず確認してください。
- ・外額縁、内額縁は現場の納まりに合わせて切り詰めをお願いします。

使用工具一覧

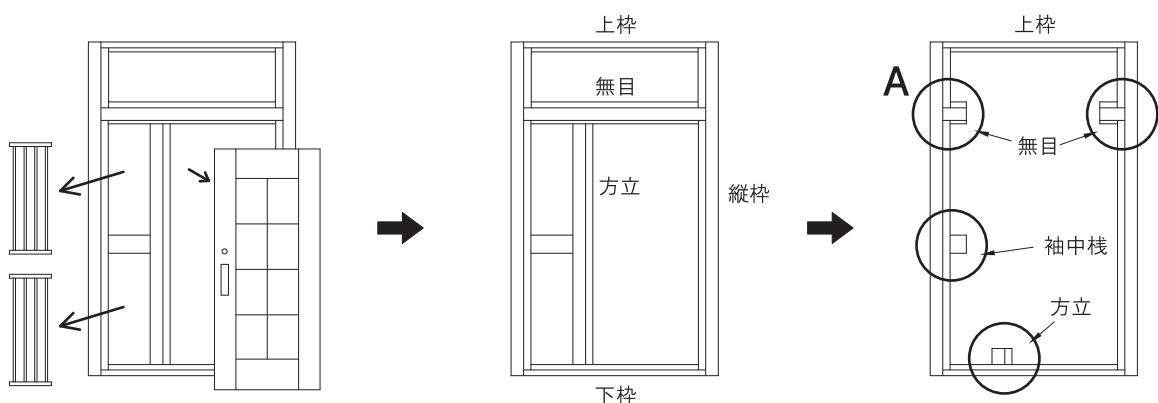
- ・電動ドリル、電動ドライバー
- ・くいぎり
- ・ペンチ
- ・プラス、マイナスドライバー
- ・鉄のこ
- ・ディスクグラインダー（サンダー）
- ・丸ノコ（アルミ部材、樹脂部材切断用）
- ・カッターナイフ
- ・コーキングガン
- ・コーキングへら

既設ドアの取り外し

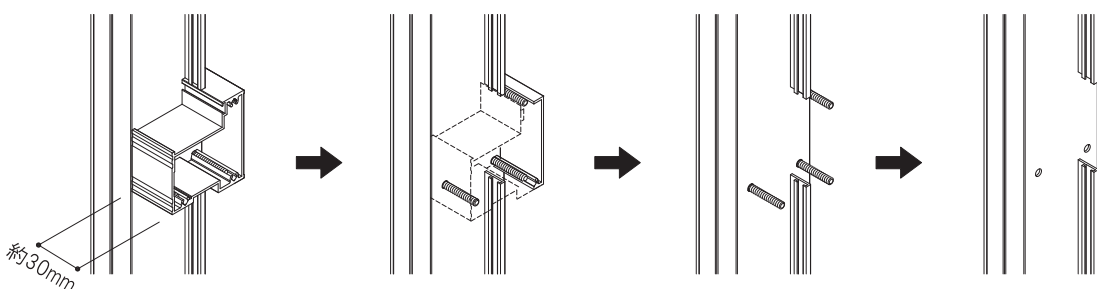
- ①既設のドア本体、袖飾り、子扉、ガラスを取り外します。
- ②無目、方立等の部材を切断して取り除き、外枠のみ（上枠、下枠、縦枠）残します。

既設枠がアルミ枠の場合

- ①無目・方立等は縦枠・下枠の連結部から約30mm残して切り取ります。
- ②切残した部材はタッピングホール付近を分割してとりやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったネジをくいぎり等で切断します。



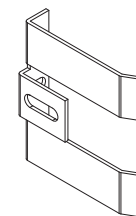
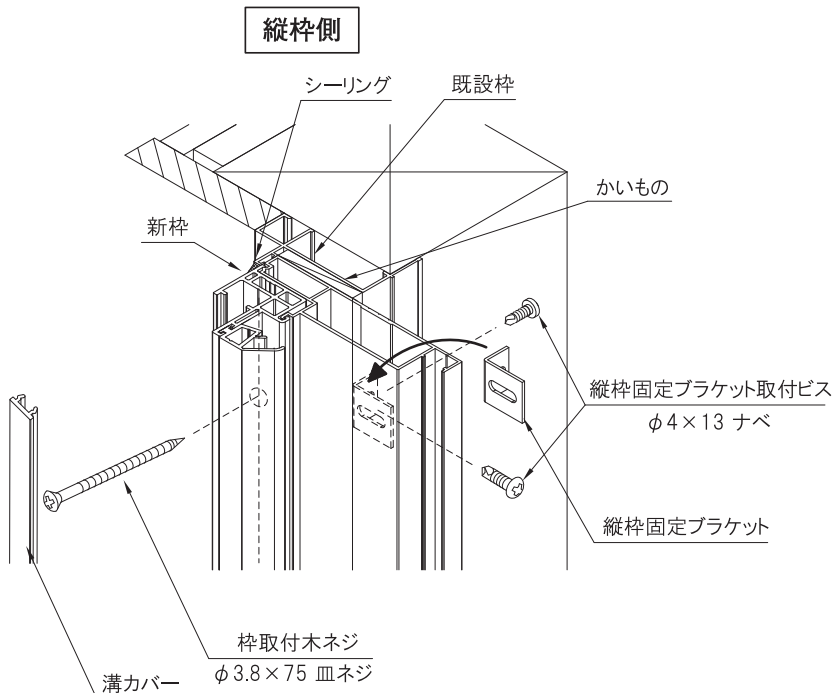
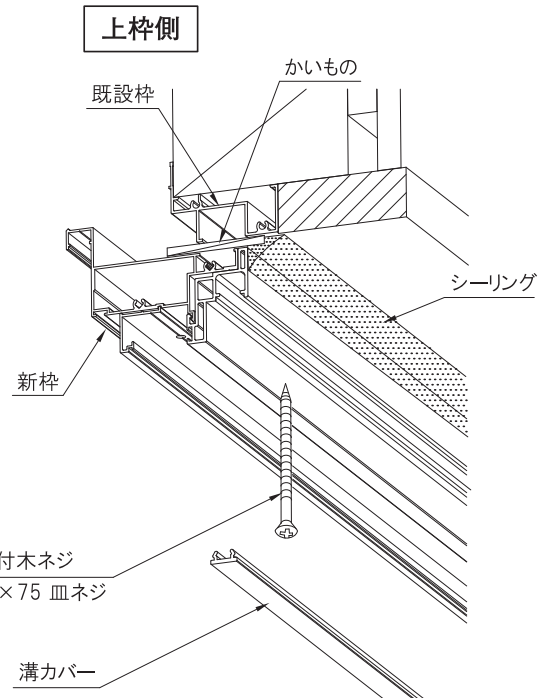
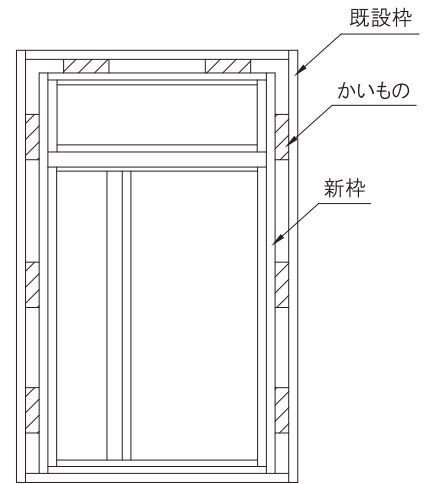
A部詳細



製品の組立てと取付け

●新しい枠の取付け

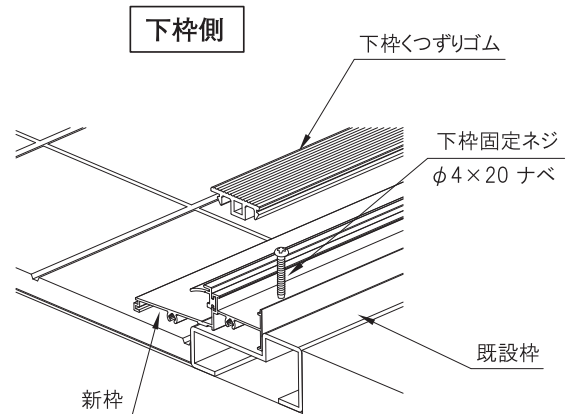
- ①新枠の水平垂直を正しく出します。
既設枠との隙間にはかいもの(ベニヤ板等のスペーサー)を入れてください。
- ②取付け位置決定後、新枠の取付け孔より、既設枠と躯体にφ3の下穴をあけます。
- ③新枠の吊元側から順に付属の木ビスで取り付けます。
- ④縦枠外側から「縦枠固定ブラケット」を片側3ヶ所ずつ縦枠固定ブラケット取付ビスで固定します。
(丁番に近い位置に取り付けてください。)
※外額縁大・外額縁特大を取り付ける場合は、「外額縁大取付けブラケット」も取り付けます。
(P24・25参照)
- ⑤室内側の木ビスをうった上から溝カバーを嵌め込みます。
- ⑥既設枠と新枠の接続部にシーリング材を充てんします。



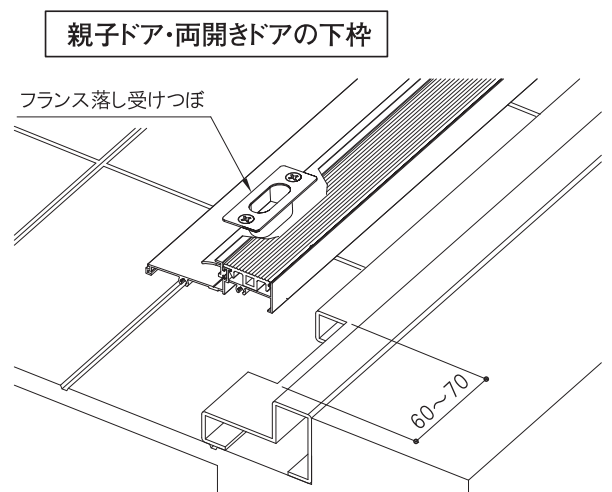
外額縁大取付けブラケット

※外額縁の梱包内のビスセットに含まれています。(P24・25参照)

- ⑦下枠のくつずりゴムを一旦取り外し、下枠の取付け孔から既設枠にφ3.5の下穴をあけて、下枠固定ネジφ4×20ナベ頭ビスで固定します。



- ⑧親子ドア・両開きドアではフランス落し受けつぼが既設枠に当たります。この場合は既設下枠に切欠きを右図のように施す必要があります。

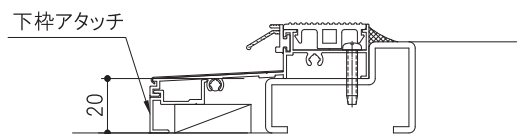


- ⑨新しい下枠とポーチの隙間には現場に合わせてかいもの (スペーサー) を入れてください。フランス落し受けつぼの両脇は強度を確保するため、必ず入れるようにしてください。

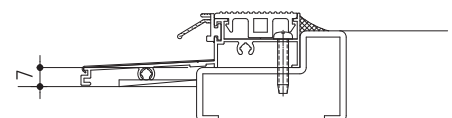
- ⑩既設下枠とポーチの段差について

1. 段差20mm以上、45mm未満のときは
下枠アタッチを取り付けてください。
2. 段差7mm以上、20mm未満のときは
下枠アタッチは付けなくてください。
3. 段差0mm～7mm未満のときは
新しい下枠の下にかいものを入れて調整してください。

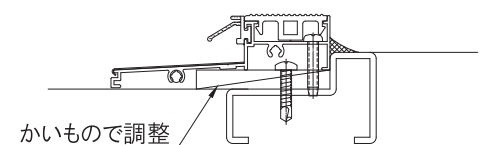
既設下枠とポーチ段差20mm以上



既設下枠とポーチ段差7mm～20mm未満



既設下枠とポーチ段差0mm～7mm未満



製品の組立てと取付け

●ドア本体の吊り込み

丁番の取付・本体の取付

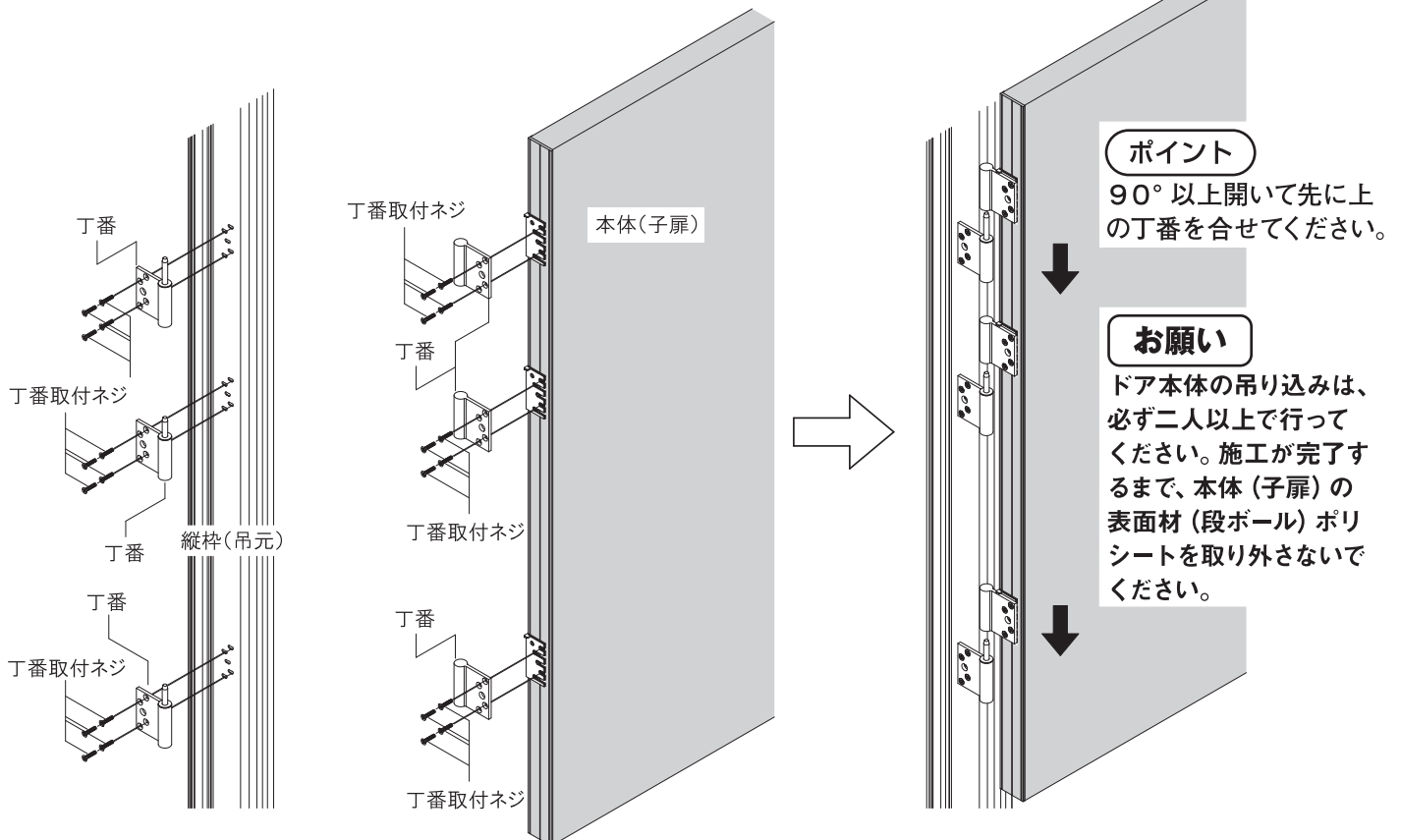
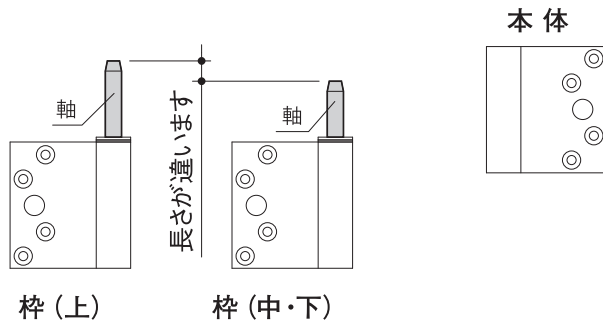
- 1) 丁番を枠とドア本体に取り付けてください。
その際、枠側に取り付ける丁番は上部用と下部用にご注意ください。
丁番セットのR勝手は外観右の吊元側、L勝手は外観左の吊元側に取り付けてください。
- 2) 枠にドア本体を吊り込んでください。

ポイント

※丁番には、枠側上・下と本体側の区別があります。

軸の長い丁番：枠（上）

軸の短い丁番：枠（中・下）

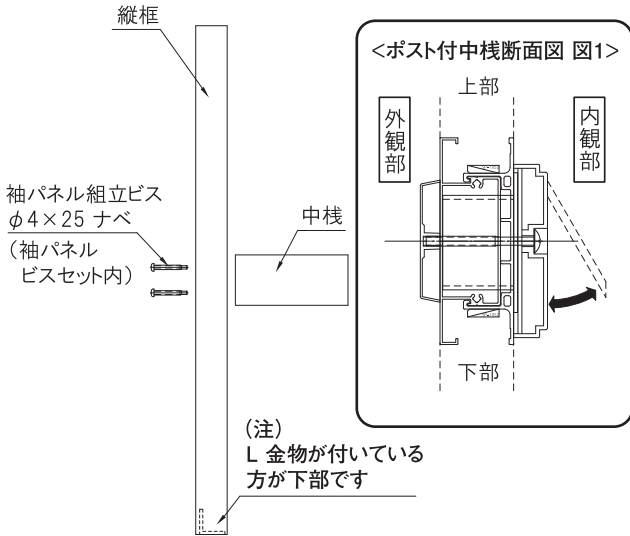


●袖パネルの組立

(1) 中棧の取付

ポスト付中棧の場合は上下・内外に気をつけて組立てください。

(図1参照)

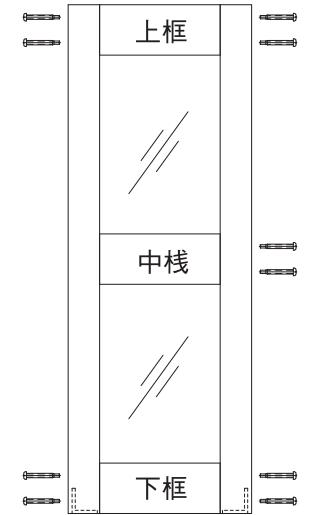
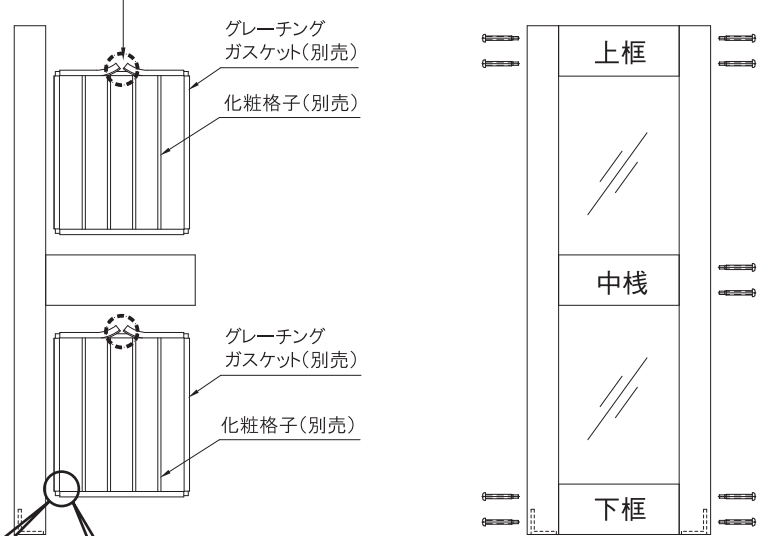


(2) ガラスへの組み込み

扉の組立時に框に組み込んでください。

お願い

グレチャンの切れ目が上部中央になる様に組み込んでください。



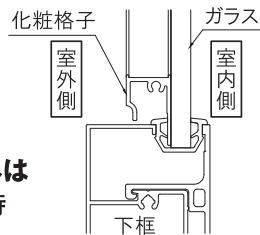
化粧格子を取付する場合

単板の場合
(複窓ガラスの場合も
同じ取付方です)

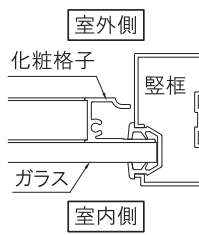
お願い

パネルの組立後は組み込みは
できません。パネルの組立時
に組み込んでください。

縦断面拡大図



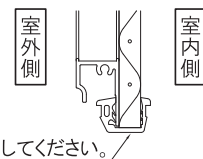
横断面拡大図



・使用するグレチャンについて
グレチャンは(使用するガラス厚+1mm)
の厚さ設定のものをご使用ください。
(カタログを参照してください。)

お願い

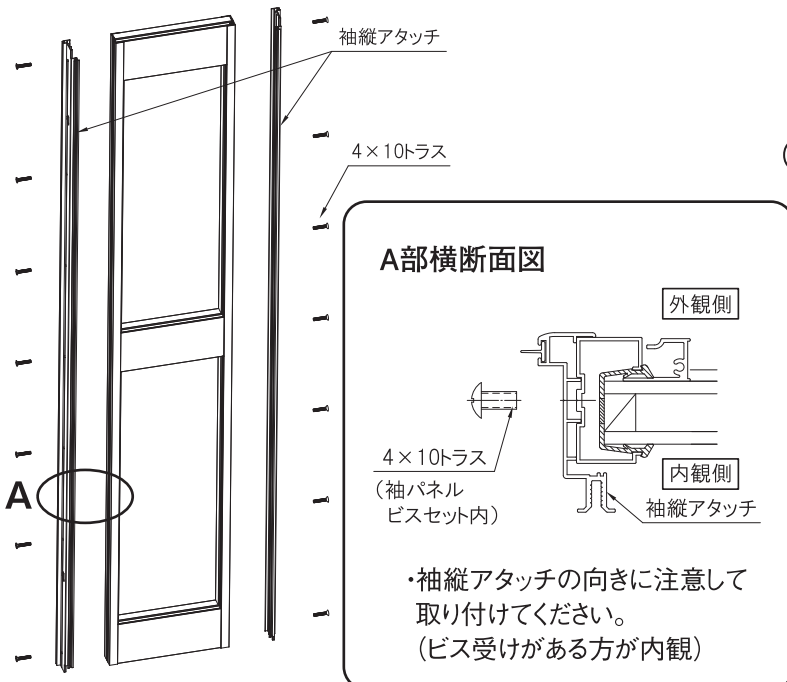
6.8mm厚の網入りガラスを使用する
場合は、偏芯用グレチャンをご使用ください。
※グレチャンの向きに注意してください。
格子とガラスを室内側に偏芯させてください。



(4) 袖縦アタッチの取付

両側に袖縦アタッチをビスで固定します。

※内観、外観、RLに注意してください。



(5) 下端ブロックの取付

・袖縦アタッチの下端に下端ブロック(R L有り)を
取り付けてください。

